

みなさまの支えのおかげで、 SOE ニュースは 20 年間発行を続け、 今月で 200 号となりました。

環境問題の急速な悪化を止めるのは **人** です。

2030・2050 を目指し、

環境を守る人を育てる

楽しい環境学習 を伝えていきます。

お読みいただき心よりお礼申し上げます。

SOE NEWS

No.200

2023年

12月

センスオブアース

市民による自然共生

バンゲア

平成27年度地球温暖化防止活動
環境大臣表彰受賞団体



2004年4月～2023年12月

地球を緑に溢れる
命の星にする人を育てる

緑の大地やいきものたちを愛する子ども・青年は、それらが破壊されることを拒むでしよう



NPO法人センスオブアースの活動とニュースの20年の歩み概略

* 2 ページに国内外の環境対策概略表を掲載

	センスオブアースの主な活動	SOE ニュースのミニ歴史
2004年 (H16) }	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人センスオブアース、内閣府認証で設立 ・学校や大学の授業で、環境教育プログラム実施開始—食べものはどこから・ビオトープづくり・ヤゴの救出など、環境学習の講演も開始 	<p>2005.4: 第1号ニュース発行1年目、500部でスタート—環境への尊敬と親しみを感じ、FEEL・THINK・ACT を伝えるニュースを目指す、まもなく1,000部に、現在に至るまで年約11回発行</p>
2006年 (H18) }	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ビオトープの活動支援 ・小学校の環境教育プログラム—いもむしのたから袋、ヤゴ救出作戦、豆腐づくり、みそづくり等作成、若者学生参加のワークショップ実施 ・小学校、中学校での出張授業開始 	<p>2006: 2年目、2,500部に、当初はB4判4頁を手折りで行う、区内学校・保・行政・環境センター・マスコミ・個人希望者に配布、折り機を購入</p>
2009年 (H21) }	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育プログラム紹介パンフレット作成 ・出前授業の増加、「放射線から身を守る生活の仕方」についての授業実施 ・エコポリス板橋環境大賞環境教育部門優秀賞 ・プログラム開発計25種、紙芝居の製作が続く ・保育園、幼稚園での出張授業開始 	<p>2009: ニュース発行5年目 3,500部発行、地域センターの印刷機と、新たに購入した折り機で発行続行、配布先に保育園と幼稚園が加わる</p>
2013年 (H25)	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO 設立10周年記念出版物『みんなワクワク「環境教育実践集」』教育機関へ配布 	<p>2014: ニュース発行10年目、ニュースを見て出張授業プログラムを申し込んでくる学校が出てきた</p>
2015年 (H27)	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化防止活動環境大臣表彰 環境教育部門を受賞 ・環境学習体験会、研究会を各年8回実施—プログラム開発計約40種～、紙芝居5作 ・年間の出張授業件数が増加 	<p>2015: ニュース発行11年目。環境学習を体験し、子どもたちの感性を揺さぶり、豊かな感受性が育つ様子を多種掲載、子どもだけでなく、指導する教師やNPOが共に学び合う</p>
2022年4月 (R4) }	<ul style="list-style-type: none"> ・出張授業件数500件突破 ・紙芝居累計14作、プログラムパンフ改訂—教育機関へ配布 ・「いたばしECOフェスタ ユース環境活動発表会」を呼びかけ、板橋区、板橋区教育委員会と共に協賛団体として2024年の第1回開催に向け準備中 	<p>2022: ニュースのカラー印刷開始、あいキッズ・児童館などへ配布ひろがる、食品ロスプログラムのニュースで、子どもたちの授業記事が大人にも波及する例があった—子どもたちが変わり、家庭へ伝わる。人々が育っていく</p>
2023年12月		



SOEの活動ピックアップ



2004~2023 20年間の世界・日本の環境対策の動向

	世界の対策	日本の対策
2004年 (H16) }	<ul style="list-style-type: none"> ・ COP3 京都議定書発効スタートは気候変動枠組み条約 1992 年リオサミットから。1990 年の CO₂排出量と比べ、各国が 5 % 減量を目指したものの初めて先進国の削減目標決定 ・ 国連 ESD 持続可能な開発のための教育 (2025 ~ 2014) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都議定書目標は2008~2012の期間に達成を目指した—日本-6%、アメリカ-7%(その後離脱)、EU-8%、カナダ-6%、ロシア-0%、豪州+8%、NZ-0%、ノルウェー+1%など 日本は目標達成したが途上国の目標無しに不満で後半に不参加へ
2006年 (H18) }	<p>2007: IPCC 第4次評価報告書—気候システムの温暖化には疑う余地はない(ことが示される)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 温暖化対策法改正、地方公共団体実行計画 ・ 2050年までに 60 ~ 80%の温室効果ガス減
2009年 (H21) }	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気候変動首脳会合 2020 年に 1990 年比で 25%削減合意 2014: 国際自然保護連合がニホンウナギ、太平洋クロマグロを絶滅危惧種に指定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本大震災、福島第一原発事故 ・ 以後、国民の節電が進む、原子力発電量が減り石炭火力発電量増加
2015年 (H27) }	<p>2015: SDGs を国連持続可能な開発サミットで全会一致採択、パリ協定が採択され気温上昇を 1.5 度に抑える努力 (の目標が設定される)</p> <p>2018: IPCC 第5次 1.5 度特別報告書—気候システムに対する人為的影響は明らかであり~</p> <p>2019: 国際自然保護連合発表—レッドリストデータベース 112,432 種、絶滅危惧種 30,178 種を発表</p>	<p>2018: 「環境省レッドリスト 2018」 絶滅の恐れのある種 3675 種を環境省が発表 (ツキノフグマ・オオタカ・ジュゴン・ムツオロウ・メダカ・ヒメイトトンボ・タガメ・コウノトリ・ラッコ・アオウミガメ・シマフクロウ・ヤンバルクイナ・イリオモテヤマネコなど)</p> <p>2020: 日本が正式に 2050 年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言 (東京都は 2019 年に「ゼロエミッション東京」宣言)</p>
2022年4月 (R4) } 2023年12月	<p>2022: IPCC 第6次評価報告書—人間活動が主に温室効果ガスの排出を通して地球温暖化を引き起こしてきたのは疑う余地がない(ことが示された)</p> <p>2023.3: IPCC 第6次評価 AR6 統合報告書—主なメッセージ「広範かつ急速な変化が起こっている」</p> <p>・ 2021 年 10 月までに発表された「国が決定する貢献 (NDC2)」によって、2030 年迄の世界全体の GHG 排出量では、温暖化が 21 世紀の間に 1.5 度を超える可能性が高く、温暖化を 2 度より低く抑えることが更に困難になる可能性が高い</p>	<p>2022: 板橋区「ゼロカーボンいたばし 2050」表明、2025 年迄に温室効果ガス排出量の 30%減 (2013 年比) を目指している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2021~2030年の日本の排出削減目標-46% (2013年度比) 外務省—パリ協定の国が決定する貢献 (NDC) に対して、2021年に進み具合が発表された~現在の CO₂排出量~ 日本 11.2 億 t、英国 4.3 億 t、フランス 4.0 億 t、ドイツ 7.6 億 t、イタリア 3.9 億 t、米国 55.9 億 t、カナダ 6.5 億 t

参考 環境省地球環境局.国内外の最近の動向について(報告).2023-06
 環境省地球環境局.IPCC評価報告書・統合報告書の概要.各次
 環境省まとも絶滅危惧種.環境省.R4年度気候変動と生物多様性の現状と国際的な動向
 外務省.日本の排出削減目標
 板橋区.地球温暖化対策実行計画.板橋区.環境白書2022
 WWFジャパンの資料.他

カモフラージュ&好きな色はどこにある

旭保育園◎5歳児18人
10月13日◎板橋交通公園



9月初旬の実施予定でしたが、暑さ指数が高く延期。ようやく良い日に恵まれて、張り切って、

「ウサギは夏は茶色、冬は白くなって、季節によって全く違う色になってしまうわけ？」不思議そうに絵本を見て考えている



「好きな色見つけた。青い色は空だ！」



した。よく観察しないと見つけられないのが「カモフラージュ」遊び。こうやって生きものは命を守っているんだと気づきました！

後半は、カードを使って好きな色を探す活動をしました。

青い色は空だったよ！

色探しが楽しかった～！

もっとたくさん色を探したい！

パパとママと一緒に色さがしをしたい！



青いものは、何人もが空だと気づき、空に手をあげました。感性がすごいですね。



「かくれている物
見つかるかなあ」

板橋交通公園まで元気にやってきた子どもたち。この日の活動は、自然の色の豊かさと、生きものにとって、その色はどんな役に立つのか、遊びを通して感じる活動です。前半はネイチャーゲームの「カモフラージュ」の活動。植え込みの緑などに、いくつかの物がかくれているかを見つけるゲーム。すぐに見つかる物と、まったく気づかない物、いろいろです。正解者は一人で



この色が見つかりにくいわけ、わかるかな？



みんな、好きな色（折り紙の色で）を、あらかじめカードにはってきました。それを見つげに出発！

水となかよし



ほっぺるランド成増◎5歳児14人◎10月5日



「このボール、水に浮くかな？沈むかな？」

「水ってどんな時使うかな？」—子どもたちからたくさんの例が…
 「歯磨き・草に水・道路にまく・皿洗い・料理・野菜洗い・シャワー」、
 「水がないと困る人～」—全員です。

グループで交代して3つの遊びをしました。

☺水てっぽうで遊んで楽しかった(多数) ☹水てっぽう—水が飛んでいく



水をかけると水車がまわるね!

⊕的を倒せた ⊖倒れかけたが、当たった
 ⊕的に当たったのがよかった ⊖当たったが倒せなかった
 ⊕水車がおもしろかった ⊖水車が回るのが楽しかった ☆「浮く沈む」は、トマトが浮いた
 ⊕全部楽しかった

まとめの話「水ってたくさん大事な仕事をしている。飲み水がないと困るよ。大事にしよう」

先生より「3つすべての活動で楽しんだ。

水の力を理解していた。水の持つ力や大切さ、働きに親しみを持った」



水てっぽうで「たおすぞ～」

わた綿人形を作ろう



板橋区立若木保育園◎5歳児15人
 10月25日



綿の髪の毛をつけて～
 すきな顔をかいて～好きなふくきせて～

⊕お人形作り楽しかった! ⊕ワタのことがいろいろ分かったよ
 「体験が5つもあるよ」
 …綿とポリエステルを



今日は、触ってみて綿を当てる、紙芝居を観る、綿と種を手と綿繰り機で分ける、人形を作る体験をします

当てる体験では、子どもたちは、「何かワタが固い感じ」「ポリエステルがフワフワしている」と答えました。実際の体験用の綿は、固くなってきたので、その感覚の鋭さに感心しました。『フワフワちゃんとコロコロちゃん』の紙芝居も楽しんだ後、綿と種を綿繰り機で分離、人形作りへ。



秋に実った綿を種と綿に分ける活動
 根気がいる

先生より「綿は服だけではなく、生活に



綿から種を取る「かった～い!!」



綿繰り機で取るとかんたんだ

かかわるものに使われていることを知り、私自身、興味深くおもしろい活動だと思った。様々な体験があり、積極的な発言が多くあり、楽しんで参加していた」

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052
 e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp